

いびがわマラソン情報!

11月14日(日)に開催された2010いびがわマラソンでは、全国から集まった10,000人あまりのランナーと町民の皆さんが、まさに「家族みたいになれた日」ではなかったでしょうか?

今、マラソン事務局には、ランナーの皆さんから「お礼の手紙」や「生の声いただきますアンケート」が続々と届いています。いずれも、ボランティアとして活躍していただいた皆さんや沿道で応援し続けてくださった方々への感謝の言葉でいっぱいです。大会をご支援いただき、ありがとうございました。心より感謝いたします。



完走された揖斐川町の皆さん (大会最多の165人!)

男子フル		小森 清	三輪	鈴木 浩夫	新宮	松井 巧	脛永	高橋 幹	和田
高橋 千秋	乙原	坪井 秀行	三輪	若原 正美	福島	小谷 和彦	北方	河瀬 九十九	北方
河村 憲彦	谷波徳積	神足 健	上南方	野池 悦雄	上南方	高木 斉	長良	河崎 和哲	房島
川地 悟	三輪	山本 浩司	三輪	細野 康隆	和田	出村 孝	三輪	安藤 善文	西津波
山口 尚志	三輪	橋本 孝市	極楽寺	兒玉 智紀	桂	森 健斗	春日六合	窪田 義隆	上南方
所 大樹	谷波高科	増田 豊光	上野	中村 勲	下岡島	松原 隆	小島	女子ハーフ	
杉本 榮五郎	乙原	矢吹 和仁	脛永	細野 浩司	三輪	森 康二	春日六合	橋本 怜実	上東野
阿藪 弘	谷波木曾屋	土本 英孝	脛永	廣瀬 啓	外津波	森 正幸	春日六合	高橋 千代	北方
井口 義信	市場	小寺 慎二	白樫	堀部 秀治	極楽寺	折戸 堅信	北方	小寺 育子	春日六合
西田 知弘	和田	細野 道秋	和田	澤 英和	脛永	林 貞美	若松	岡本 智春	三輪
小寺 博文	脛永	渡辺 正明	岡	山岸 真一	谷波大洞	高橋 正好	乙原	牧村 美鶴	脛永
松井 直紀	脛永	女子フル		岩井 督之	黒田	小寺 桂一郎	春日六合	若原 友子	上南方
高橋 豊和	三輪	松井 奈穂	脛永	野原 嘉人	脛永	河合 章弘	小島	林 けいこ	房島
高橋 豊	脛永	窪田 美季子	和田	小椋 英敏	上南方	大西 良和	三輪	今西 範美	北方
増田 勝博	小谷	成瀬 純子	和田	平野 功也	谷波徳積	久保田 智也	三輪	内藤 左子	瑞岩寺
杉山 裕明	北方	高橋 寿子	日坂	山本 幸一	谷波岐礼	森本 彰徳	北方	高橋 真奈	小島
牧村 哲男	新宮	吉田 善子	北方	野原 淳一	清水	粟野 一男	房島	橋本 琴絵	極楽寺
新川 勇夫	市場	上田 智美	房島	松井 進太郎	和田	野田 雅彦	三輪	立川 喜代	上野
宮川 敏和	北方	山本 千恵子	三輪	中村 勇太	下岡島	宗宮 輝男	清水	西田 幸恵	脛永
細野 芳勝	上ミ野	竹中 明美	新宮	山本 素輝	谷波岐礼	折戸 裕信	北方	高橋 美奈	小島
田中 伸幸	三輪	野原 千恵子	脛永	中川 浩美	極楽寺	瀬川 正樹	上野	小椋 ますみ	新宮
窪田 貴次	小島	河瀬 洋子	北方	竹中 丈晴	上野	中島 勝義	市場	高橋 律子	乙原
福田 陽一	谷波岐礼	男子ハーフ		宮脇 憲輔	和田	今村 浩樹	上南方	藤原 美智	春日小宮神
高田 清隆	黒田	早見 知浩	上野	折戸 和義	北方	大久保 優	脛永	若原 尚美	上南方
松浦 洋樹	和田	高崎 文成	三輪	杉山 和哉	谷波木曾屋	長谷川 俊夫	上南方	藤原 好美	春日小宮神
山村 一樹	上南方	杉本 慎治	乙原	土川 裕	脛永	荻原 弘行	脛永	若園 佳織	三輪
橋本 康男	三輪	山田 勝則	脛永	藤井 彰全	清水	藤原 元	春日小宮神	鈴木 やよい	谷波深坂
窪田 伝昌	和田	宗宮 哲也	房島	立川 秀樹	三輪	細野 康彦	上ミ野	片岡 愛	西津波
香田 圭祐	北方	森 正樹	和田	横山 陽一	谷波徳積	藤原 裕治	小島	太田 千尋	西津波
松井 俊二	谷波長瀬	片倉 久一	上南方	野田 俊雄	三輪	松井 輝	谷波長瀬		
高橋 喜芳	北方	岩井 勇樹	黒田	矢野 将人	三倉	細野 靖尋	上南方		
山本 裕太郎	三倉	高橋 治彦	小島	中村 泰英	下岡島	折戸 正伸	北方		
廣瀬 法昭	外津波	窪田 高広	岡	馬場 好美	上野	若園 賢一	三輪		
衣斐 功一	小島	橋本 清誠	極楽寺	細野 洋平	和田	窪田 政泰	上南方		
小石 三千秋	上野	内藤 成勅	市場	田中 良昌	脛永	小川 敏宏	白樫		



揖斐川町のみなさんへ おもてなしの心届きました！



いびがわマラソンはランナーとの「心と心のキャッチボール」を大切にしています。

11月14日に開催された「2010いびがわマラソン」へ全国のランナーから、お礼の手紙やFAX・ホームページへの書き込みがありましたので紹介します。(原文のまま掲載)

😊 人生初のフルマラソンでしたが、応援看板、全部読みながら走りました！笑わされたり、励まされたり、あつという間の42.195キロでした。声を張り上げて応援して下さった沿道の皆さん、賑やかな楽器の演奏や太鼓・鈴・フライパン等の鳴りモノで盛り上げてくださった皆さん、その他すべての関係者の皆さんに、本当に本当に感謝！感激！です。マラソンは孤独なスポーツだと思ってきましたが、孤独なんて少しも感じてる暇がなかったです。ありがとうございました。

😊 すべてのボランティア、関係者の皆さん、沿道で応援してくださいました。皆さんありがとうございます。私は揖斐川出身で、実家はいまでも揖斐川にあります。ハーフでしたが、大会デビューが凱旋参加となりました。また来年参加したいと思えます。そしていつの日かフルマラソンに参加したいです。ありがとうございます。

😊 皆さんお疲れ様でした。天気にも恵まれ今年も本当にいい大会になりました。特に今年気付いた点ではAEDの充実でしょうか。他のメジャー大会をあまり知りませんが、医療体制がともしっかりしていると感じました。それと会場・コースにもゴミや落ち葉が落ちていないこと。きつとギリギリまで清掃活動してくださっていただいでしょうね。関係された全ての方々に感謝します。

😊 初めてフルマラソンを走りましたが、沿道の方の応援が、これ程力になるとは思いませんでした。余裕がなくてハイタッチや手を振ったり出来ませんでした。応援してくださった方、また、大会関係者の方々、全てに感謝したいと思えます。エイドで水をくれた中学生、ありがとうございます。一生懸命、楽器で応援してくれた高校生、幼稚園児の皆さん、ありがとうございます。36キロ付近で、サルの着ぐるみを着たお兄さん、声をかけてくれてありがとうございます。涙が出ました。いびがわマラソン最高でした。また、来年よろしくお願ひします。

😊 私自身小学生の時、沿道で応援離れて約10年、思いがたつて、いびがわマラソンに戻ってきました。走つてみて、大感激！心が洗われる土日でした。レース中に、こんな「ありがとう！」って口に出してきたのは初めてです。来年はもっともっと、トレーニングを積んで、後半もバテずに、みんなとハイタッチできるような頑張ろうと思います。そして、自身の揖斐川町への【愛】を再認識できた1日でもありました。みんなが将来、揖斐川町を離れても、同じ気持ちで帰ってきてくれることを祈っています。ありがとうございます。

😊 私は、今も、日本の「小ホノルルマラソン」と思っている大会です。町全体で、大会を盛り上げようとする運動があるし、とにかくボランティアさんの方は、最高ですね。ホノルルマラソンを経験している方なら、分かると思います。これからも地域全体で、もっともっと盛り上げて欲しいものです。

😊 第1回(88年)から参加していますが、年を追う毎に、大会運営が良くなっていくように感じます。早朝、会場に入る時も、大会スタッフ、ボランティアの皆さんが、皆、挨拶をしてくれて、とても気持ち良かったです。おもてなしの気持ちで充分に感じられました。

😊 初めてフル大会への参加。さすがに「いびがわマラソン」でした！ゼッケンを送っていただいた時から、ワクワクで、本当に安心して楽しめました。企画してくださる

😊 今回の大会は、救護医療体制の見直しをしたことが、とてもよく分かりました。皆さんに守られていることが伝わってきて、安心して走る事が出来ました。ゴールした時は、そのありがたさに涙が出ました。ありがとうございます。23回大会は、とても素晴らしい大会だったと思います。24回大会も継続してほしいと思います。

😊 人があたたかい大会なので、安心して楽しむ大会です。また、来たいと思える大会です。このままあなたがかい雰囲気を保ち続けていきたいと思います。町の皆さん、いつもありがとうございます。ランナーのために1日働いていただき、感謝しております。

😊 応援してくれた小中学生の皆さん、全てのランナーに応援を続けるのは、大変だと思うけど、全力で応援してもらえて頑張ることができました。ボランティアの中学生もとても礼儀正しく、気分よかったです。ありがとうございます。大人になったら、一緒に走りましょうね。

😊 ランナーの声が小中学生に届けられました♪

